

(別紙 2)

質問 回答

ご質問・ご意見・情報提供	回 答
<p><ご質問・ご意見></p> <p>(1) 2 ページ エ 令和 3 年度取組成果が 1 2 月末現在 3 4 品目となっています。目標 5 0 品目の達成見込みはどのようなになっていますか？</p> <p>(2) 令和 2 年度に開発された新商品のうち、令和 3 年度に販売額が増加する等定着した商品はありますか？あれば、商品名と商品の特徴を教えてください。</p> <p>(3) 「新商品が消費者にどの程度受け入れられ、農業者の多角化・強化にどう結実したのか、具体的な数値（販売量・売上額など）を示して、取り組みの成果を取組（県からの報告）において、ご回答が可能でしょうか？</p>	<p>(1) 51 品目の見込みです。</p> <p>(2) 令和 2 年度末までの集計を令和 3 年度に報告しているため、令和元年から令和 2 年度に売り上げが伸びた商品の傾向について報告させていただきます。平成 30 年～令和元年に商品化されたもので、その後、売り上げを伸ばしているものには、 ○ジェラート・アイス類（茶・さつまいも・とまと・ゆず・ねぎなど地域の特産物を使用） ○ドレッシング（にんじん・とまと・ブルーベリーなど） ○サイダー（梨・ゆず・苺・トマトなど）が多くみられます。 自社店舗販売の他、最近では J A 直売に冷蔵・冷凍施設が設置されたことにより販売を拡大できた事例もありました。</p> <p>(3) 本年度、県の 6 次産業化要領を変更し、6 次産業化を担当する普及指導員が指導した新商品の売り上げを、3 年間報告することとしました。前年度末の商品報告を次年度の 7 月に行っております。そのデータのとおりまとめと、各農林からの聞き取りとあわせて回答させていただきます。</p> <p>平成 30 年～令和 2 年までの新商品数 185 商品のうち実販売している商品は 148 商品、販売されている商品の平均売上金額 340.8 千円/品。 販売されている商品数で報告します。 H30 年度開発された商品 44 商品 386 千円 R1 年度開発された商品 55 商品 479 千円 R2 年度開発された商品 44 商品 835 千円 商品当たりの販売額が増加し、定着しつつあります。</p>

<情報共有>

農林水産省の6次産業化の推進予算については、令和4年度から6次産業化を発展させて「農山漁村発イノベーション対策」としているところです。活用のためのパンフレットを作成していますので皆様に共有をいたします。

メールにて下記資料を送付させていただきます。

農山漁村イノベーション対策（ポンチ絵）
農産漁村発イノベーション対策